



2013年度決算の概要(補足資料)

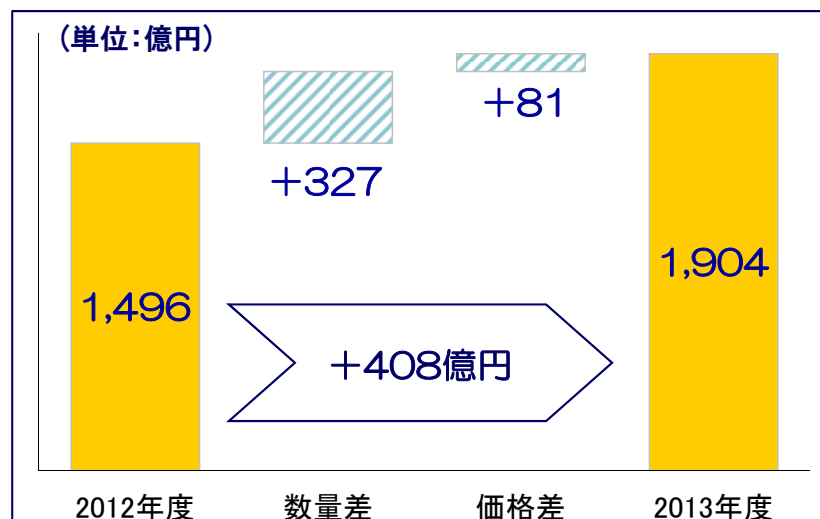
三井化学株式会社

2014年5月13日

1) 機能化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 1
2) 機能樹脂セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 2
3) ウレタンセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 3
4) 基礎化学品セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 4
5) 石化セグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 5
6) フィルム・シートセグメントの増減概要（売上高・営業利益）	・・・ 6

1) 機能化学品セグメントの増減概要(売上高・営業利益)

売上高増減 (2013年度 対 2012年度)



1,904億円 (前年同期比 +408億円)

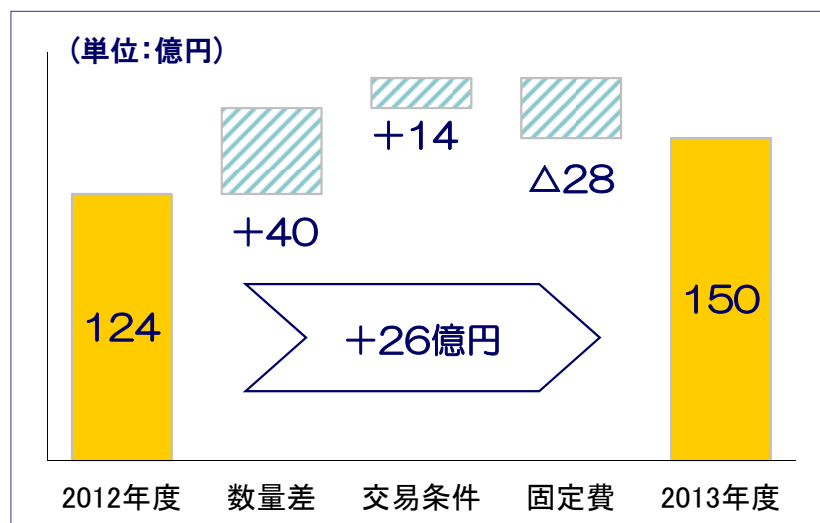
数量差 +327億円

メガネレンズモノマー、不織布、農薬の海外需要拡大。
歯科材料事業買収による増加。

価格差 +81億円

農薬輸出等の為替差。

営業利益増減 (2013年度 対 2012年度)



150億円 (前年同期比 +26億円)

数量差 +40億円

海外を中心としたメガネレンズモノマー、不織布および農薬等の増販。

交易条件 +14億円

主に農薬等での為替差。

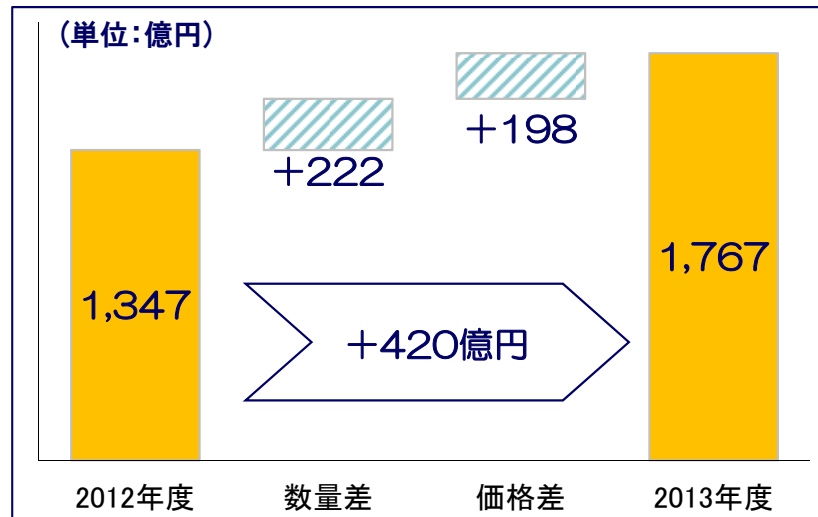
固定費他 △28億円

岩国休止固定費の戻り等。

増減額+26億円には、決算期変更の影響額 +6億円を含む。

2) 機能樹脂セグメントの増減概要(売上高・営業利益)

売上高増減(2013年度 対 2012年度)



1,767億円 (前年同期比 +420億円)

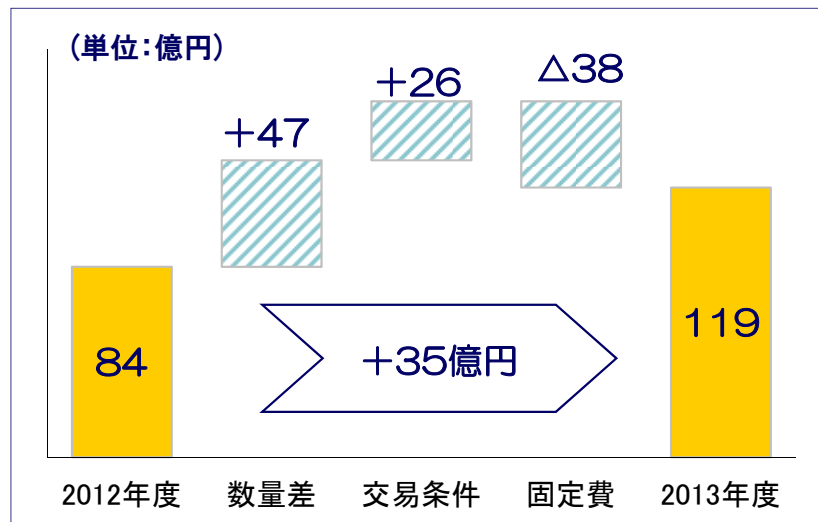
数量差 +222億円

北米を中心とする自動車用途の需要拡大により、エラストマー、機能性コンパウンド等で拡販。
スマートフォン向けに需要が拡大しているアペルの拡販等。

価格差 +198億円

主に為替差による増収。

営業利益増減(2013年度 対 2012年度)



119億円 (前年同期比 +35億円)

数量差 +47億円

北米等での自動車用途の需要拡大(エラストマー、機能性コンパウンド)。
スマートフォン向けの機能性ポリマー製品の需要拡大。

交易条件 +26億円

為替差および機能性ポリマー等の交易条件改善。

固定費他 △38億円

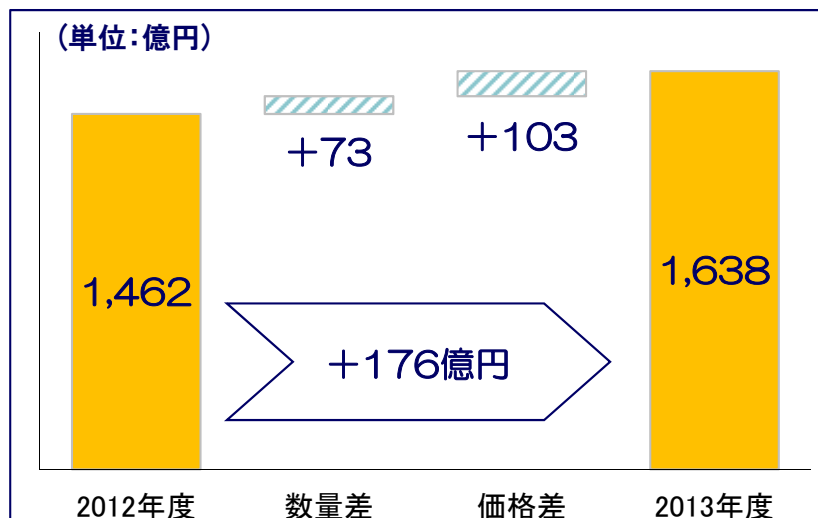
主に岩国休止固定費の戻り、操業回復による製造固定費の増加等。

増減額+35億円には、決算期変更の影響額 +9億円を含む。

3) ウレタンセグメントの増減概要(売上高・営業利益)



売上高増減 (2013年度 対 2012年度)



1,638億円 (前年同期比 +176億円)

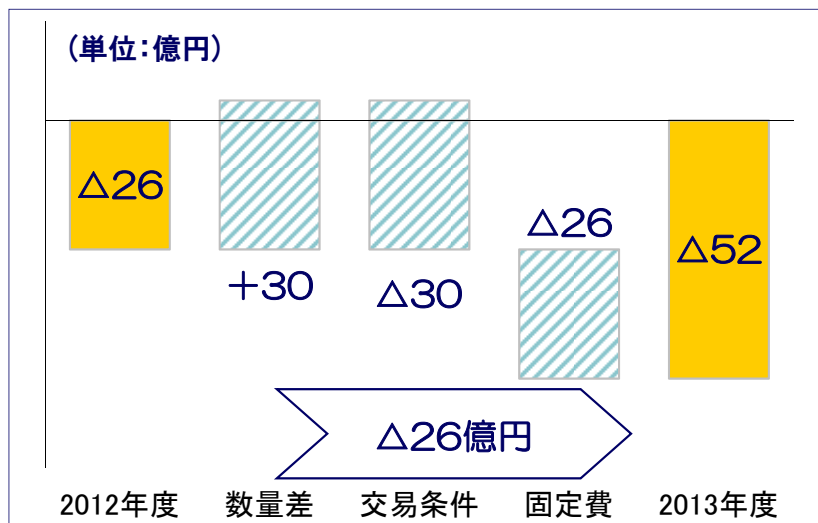
数量差 +73億円

TDI等ポリウレタン材料の海外での販売数量増加および包装用接着材等のコーティング・機能材の海外需要拡大等。

価格差 +103億円

主に為替差。

営業利益増減 (2013年度 対 2012年度)



Δ52億円 (前年同期比 Δ26億円)

数量差 +30億円

包装用接着材等のコーティング・機能材の海外需要の拡大等。

交易条件 Δ30億円

海外のTDI市況下落、原燃料価格の上昇。

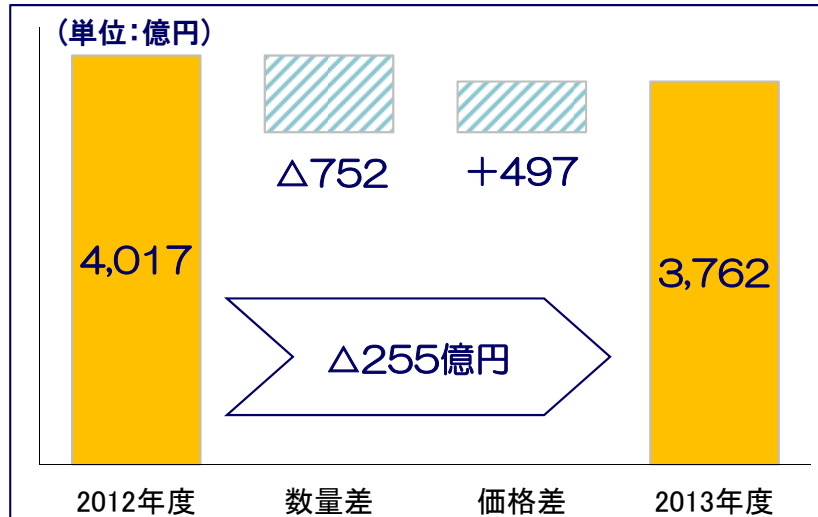
固定費他 Δ26億円

主に岩国休止固定費の戻り。

4) 基礎化学品セグメントの増減概要(売上高・営業利益)



売上高増減 (2013年度 対 2012年度)



3,762億円 (前年同期比 Δ255億円)

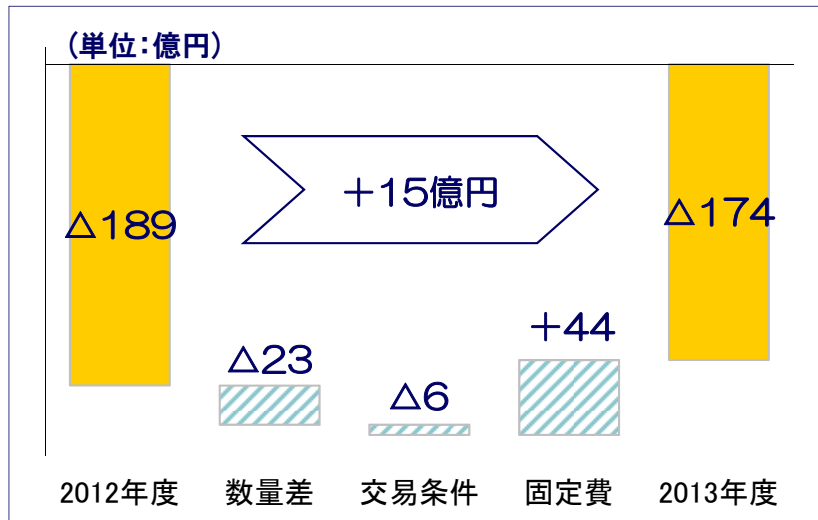
数量差 Δ752億円

PH類、PTAの中国を中心とする需要低迷、タイPTA子会社の持分法適用会社への異動により減収。

価格差 +497億円

輸出、海外品の為替差およびPH類、PTAを中心とした原料価格上昇に伴う国内での販売価格上昇による増収。

営業利益増減 (2013年度 対 2012年度)



Δ174億円 (前年同期比 +15億円)

数量差 Δ23億円

PH類、PTAのアジア需要後退に伴う減販、タイ子会社の連結範囲変更による減少。

交易条件 Δ6億円

主にPH類、PTAのアジア市況の低迷、原料の高騰。

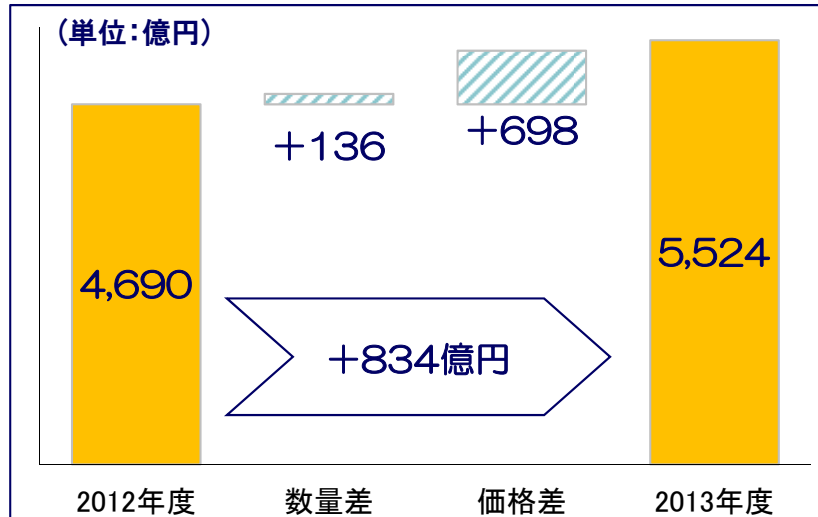
固定費他 +44億円

岩国休止固定費の戻りがあるも、タイPTA子会社の持分法適用会社への異動による固定費の減少、コスト削減努力。

増減額+15億円には、決算期変更の影響額 +23億円を含む。

5) 石化セグメントの増減概要(売上高・営業利益)

売上高増減 (2013年度 対 2012年度)



5,524億円 (前年同期比 +834億円)

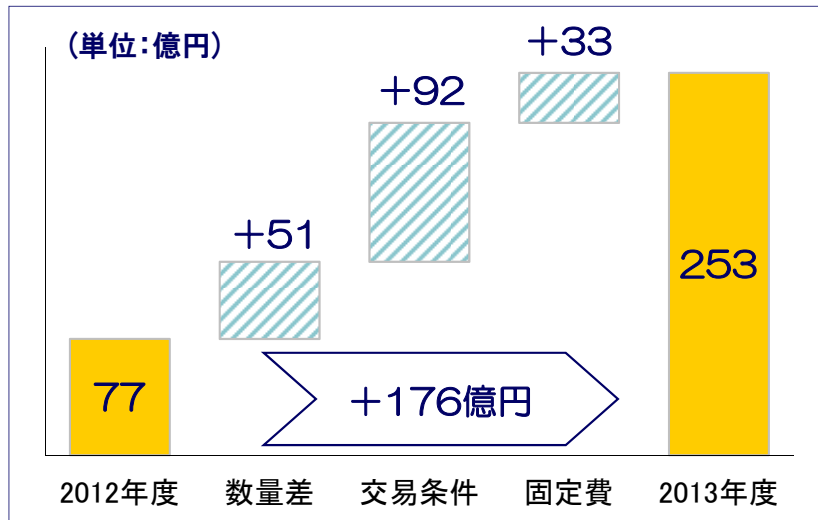
数量差 +136億円

海外の自動車向けPPコンパウンドは好調に推移するも、国内汎用ポリオレフィン向けの販売数量減等。

価格差 +698億円

為替差、原料価格上昇に伴うポリオレフィン価格の上昇。

営業利益増減 (2013年度 対 2012年度)



253億円 (前年同期比 +176億円)

数量差 +51億円

主に自動車向けPPコンパウンドの海外での増販。

交易条件 +92億円

ナフサクラッカーの稼働率向上、合理化対策、ナフサ価格上昇による在庫評価益。

固定費他 +33億円

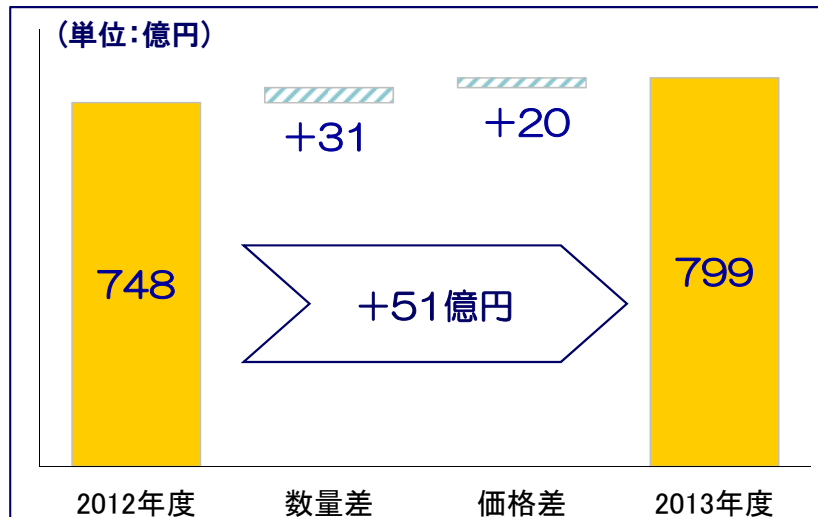
ポリオレフィンプラント停止に伴う固定費の減少等。

増減額+176億円には、決算期変更の影響額 +11億円を含む。

6) フィルム・シートセグメントの増減概要(売上高・営業利益)



売上高増減 (2013年度 対 2012年度)



799億円 (前年同期比 +51億円)

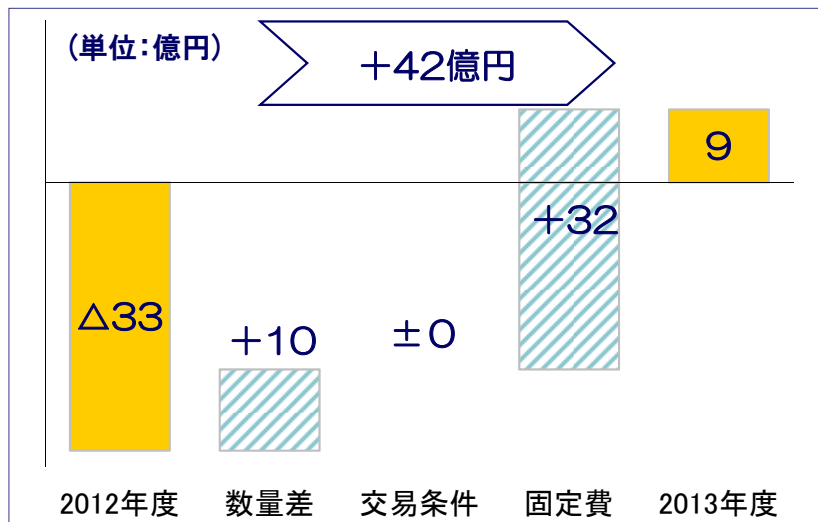
数量差 +31億円

包装フィルム、産業用フィルム、機能シートの増販。

価格差 +20億円

包装フィルムでの原料価格上昇に伴う販売価格改定の影響、産業用フィルムでの半導体製造工程用フィルムの為替差による増収。

営業利益増減 (2013年度 対 2012年度)



9億円 (前年同期比 +42億円)

数量差 +10億円

包装フィルム、産業用フィルム、機能シートの増販。

交易条件 ±0億円

固定費他 +32億円

前期の設備減損を始めとした固定費減少およびコスト削減等。